

## 令和3年度事業計画及び収支予算

### 【会計区分】

(1) 法人会計

(2) 実施事業等会計（①新産業創造等事業、②特定鉱害復旧事業等事業）

※当センターの会計は、一般財団法人への移行に伴い、平成25年度から平成20年公益法人会計基準を適用し、正味財産増減ベースでの収支予算書を作成している。

(1) 法人会計（管理費予算額870千円）

本会計においては、「基本財産」の運用益等を用いて、当センターの管理等に係る経費を支弁する。

# 令和3年度収支予算書（正味財産増減ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

単位：円

科 目	法人会計		
	当年度予算額	前年度予算額	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	8,000	8,000	0
（基本財産運用益）	( 8,000)	( 8,000)	( 0)
特定資産運用益	0	0	0
（新産業創造等基金運用益）	( 0)	( 0)	( 0)
（特定鉱害復旧事業等基金運用益）	( 0)	( 0)	( 0)
受取補助金等	0	0	0
（受取補助金等振替額）	( 0)	( 0)	( 0)
雑収益	1,000	1,000	0
（受取利息）	( 1,000)	( 1,000)	( 0)
経常収益計	9,000	9,000	0
(2) 経常費用			
管理費	870,000	870,000	0
（会議費）	( 80,000)	( 80,000)	( 0)
（旅費交通費）	( 40,000)	( 40,000)	( 0)
（通信運搬費）	( 10,000)	( 10,000)	( 0)
（消耗什器備品費）	( 30,000)	( 30,000)	( 0)
（消耗品費）	( 60,000)	( 60,000)	( 0)
（印刷製本費）	( 20,000)	( 20,000)	( 0)
（賃借料）	( 410,000)	( 410,000)	( 0)
（諸謝金）	( 80,000)	( 80,000)	( 0)
（租税公課）	( 130,000)	( 130,000)	( 0)
（雑費）	( 10,000)	( 10,000)	( 0)
経常費用計	870,000	870,000	0
当期経常増減額	△ 861,000	△ 861,000	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益	( 0)	( 0)	( 0)
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用	( 0)	( 0)	( 0)
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 861,000	△ 861,000	0
一般正味財産期首残高	11,184,000	11,838,000	△ 654,000
一般正味財産期末残高	10,323,000	10,977,000	△ 654,000
（うち基本財産への充当額）	(9,500,000)	(9,500,000)	( 0)
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	0	0	0
（基本財産評価益）	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産評価益	0	0	0
（特定資産評価益）	( 0)	( 0)	( 0)
基本財産評価損	0	0	0
（基本財産評価損）	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産評価損	0	0	0
（特定資産評価損）	( 0)	( 0)	( 0)
一般正味財産への振替額	0	0	0
（一般正味財産への振替額）	( 0)	( 0)	( 0)
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	91,502,000	91,502,000	0
指定正味財産期末残高	91,502,000	91,502,000	0
III. 正味財産期末残高	101,825,000	102,479,000	△ 654,000

## (2) 実施事業等会計

### ①新産業創造等事業（事業費予算額 167,170千円）

※産炭地域新産業創造等基金及びその運用益等により事業を実施する。

#### 事業計画

##### ■自主事業

#### ①新事業創出支援推進事業（継続） 7,700千円

地域における新事業の創出等を目的として、行政や商工会議所と連携・協力を図りながら、荒尾市起業家支援センター（チャレンジプラザあらお）にインキュベーションマネージャーを配置するとともに、同施設内で中小企業診断士等の専門家による経営相談会を実施する。

上記の取組みに加えて、創業計画やマーケティング、財務などの基礎知識をテーマにしたセミナーを開催する。

#### ②荒尾市南新地地区温泉探査業務（新規） 7,500千円

南新地地区ウェルネス拠点の中核的な機能の一つである温浴施設の立地を検討するに当たっては、地下に温泉として利用できる温泉源があるか否かという情報が極めて重要である。よって、南新地地区の温泉探査を実施し、広く公開することで、地下資源特有の開発リスクの低減を図ることにより、南新地地区への温浴施設の立地を促進する。

#### ③デジタル社会に向けた情報発信の調査事業（継続） 500千円

荒尾市の課題であるシティプロモーション的要素を含んだ情報発信力不足を解消し、まちの認知度や好感度をあげ、企業立地による新たな産業創出を図るため、豊富な経験や優れた企画力等に基づきコンサルティングやフォローアップを行い、市の情報発信力の強化を図る。

##### ■助成事業 助成金支出（継続）150,000千円

助成基準に基づき、荒尾市や民間企業等が実施する新産業創造のための事業を対象に募集を行い、理事会で審査の上、事業に必要な経費の一部を助成する。

##### ■その他 上記の自主事業及び助成事業に係る諸費用 1,470千円

# 令和3年度収支予算書（正味財産増減ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

単位：円

科 目	実施事業等会計① 新産業創造等事業		
	当年度予算額	前年度予算額(補正後)	増減
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
(基本財産運用益)	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産運用益	23,000	27,000	△ 4,000
(新産業創造等基金運用益)	( 23,000)	( 27,000)	( △ 4,000)
(特定鉱害復旧事業等基金運用益)	( 0)	( 0)	( 0)
受取補助金等	160,000,000	165,500,000	△ 5,500,000
(受取補助金等振替額)	( 160,000,000)	( 165,500,000)	( △ 5,500,000)
雑収益	1,000	1,000	0
(受取利息)	( 1,000)	( 1,000)	( 0)
経常収益計	160,024,000	165,528,000	△ 5,504,000
(2) 経常費用			
事業費	167,170,000	164,470,000	( 2,700,000)
(会議費)	( 50,000)	( 50,000)	( 0)
(旅費交通費)	( 1,000,000)	( 1,000,000)	( 0)
(消耗品費)	( 60,000)	( 60,000)	( 0)
(消耗什器備品費)	( 200,000)	( 0)	( 200,000)
(印刷製本費)	( 30,000)	( 30,000)	( 0)
(諸謝金)	( 100,000)	( 100,000)	( 0)
(租税公課)	( 20,000)	( 20,000)	( 0)
(委託料)	( 15,700,000)	( 13,200,000)	( 2,500,000)
(雑費)	( 10,000)	( 10,000)	( 0)
(支払助成金)	( 150,000,000)	( 150,000,000)	( 0)
経常費用計	167,170,000	164,470,000	2,700,000
当期経常増減額	△ 7,146,000	1,058,000	△ 8,204,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(経常外収益)	( 0)	( 0)	( 0)
(2) 経常外費用	0	0	0
(経常外費用)	( 0)	( 0)	( 0)
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,146,000	1,058,000	△ 8,204,000
一般正味財産期首残高	23,726,000	10,957,000	12,769,000
一般正味財産期末残高	16,580,000	12,015,000	4,565,000
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産評価益	0	0	0
(基本財産評価益)	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産評価益	0	0	0
(特定資産評価益)	( 0)	( 0)	( 0)
基本財産評価損	0	0	0
(基本財産評価損)	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産評価損	0	0	0
(特定資産評価損)	( 0)	( 0)	( 0)
一般正味財産への振替額	△ 160,000,000	△ 165,500,000	5,500,000
(一般正味財産への振替額)	( △ 160,000,000)	( △ 165,500,000)	( 5,500,000)
当期指定正味財産増減額	△ 160,000,000	△ 165,500,000	5,500,000
指定正味財産期首残高	280,000,000	320,000,000	△ 40,000,000
指定正味財産期末残高	120,000,000	154,500,000	△ 34,500,000
<b>III. 正味財産期末残高</b>	136,580,000	166,515,000	△ 29,935,000

②特定鉾害復旧事業等事業（事業費予算額 1,000千円）

※特定鉾害復旧事業等基金及びその運用益等により事業を実施する。

事業計画

■助成事業 助成金支出（継続） 860千円

熊本県内で特定鉾害（浅所陥没）が発生した場合、業務規程等に基づき、当該市町村が実施した特定鉾害復旧工事に係る経費を助成する。

■その他 上記の助成事業に係る諸費用 140千円

# 令和3年度収支予算書（正味財産増減ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

単位：円

科 目	実施事業等会計② 特定鉱害復旧事業等事業		
	当年度予算額	前年度予算額	増減
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
(基本財産運用益)	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産運用益	1,000	1,000	0
(新産業創造等基金運用益)	( 0)	( 0)	( 0)
(特定鉱害復旧事業等基金運用益)	( 1,000)	( 1,000)	( 0)
受取補助金等	0	0	0
(受取補助金等振替額)	( 0)	( 0)	( 0)
雑収益	0	0	0
(受取利息)	( 0)	( 0)	( 0)
経常収益計	1,000	1,000	0
(2) 経常費用			
事業費	1,000,000	1,000,000	( 0)
(会議費)	( 30,000)	( 30,000)	( 0)
(旅費交通費)	( 100,000)	( 100,000)	( 0)
(消耗品費)	( 10,000)	( 10,000)	( 0)
(支払助成金)	( 860,000)	( 860,000)	( 0)
経常費用計	1,000,000	1,000,000	0
当期経常増減額	△ 999,000	△ 999,000	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(経常外収益)	( 0)	( 0)	( 0)
(2) 経常外費用	0	0	0
(経常外費用)	( 0)	( 0)	( 0)
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 999,000	△ 999,000	0
一般正味財産期首残高	1,004,000	1,003,000	1,000
一般正味財産期末残高	5,000	4,000	1,000
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産評価益	0	0	0
(基本財産評価益)	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産評価益	0	0	0
(特定資産評価益)	( 0)	( 0)	( 0)
基本財産評価損	0	0	0
(基本財産評価損)	( 0)	( 0)	( 0)
特定資産評価損	0	0	0
(特定資産評価損)	( 0)	( 0)	( 0)
一般正味財産への振替額	0	0	0
(一般正味財産への振替額)	( 0)	( 0)	( 0)
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,150,000	10,150,000	0
指定正味財産期末残高	10,150,000	10,150,000	0
<b>III. 正味財産期末残高</b>	<b>10,155,000</b>	<b>10,154,000</b>	<b>1,000</b>